

名古屋交通計画 2030 成果目標（令和 5 年度）

展開	指標	成果目標			
		当初値	現状値	数値目標	
				2025 年度	2030 年度
展開 1 リニア中央 新幹線の開 業に向けた 広域交通環 境の形成	名古屋市内へ公共交通等を利用 して来訪する人の割合	67.4% (2021 年度)	62.5% (2023 年度)	70%	73%
	名古屋駅の乗客数※1	41 万人 (2020 年度)	54 万人 (2022 年度)	67 万人 (2024 年度)	70 万人 (2029 年度)
展開 2 持続可能な 公共交通ネ ットワーク の形成	公共交通を便利で利用しや すいと思う人の割合	81.6% (2021 年度)	84.9% (2023 年度)	84%→ 85% ^①	85%→ 87% ^①
	市内の鉄軌道及び市バス 1 日当たりの乗車人員合計 ※2	188 万人 (2020 年度)	226 万人 (2022 年度)	259 万人→ 243 万人 ^① (2024 年度)	258 万人→ 251 万人 ^① (2029 年度)
展開 3 まちづくり と連携した 多様な道路 空間の形成	歩行者と自転車のそれぞれ が、安全で快適に通行して いると感じている市民の割 合	39.7% (2021 年度)	37.8% (2023 年度)	40.7%	50%
	都心部の歩行者交通量※3	41,000 人 (2020 年度)	46,000 人 (2023 年度)	54,000 人	56,000 人
展開 4 地域のニー ズに応じた 移動環境の 形成	地域の住民によるまちづく りが活発に行われていると 思う市民の割合	31.7% (2021 年度)	34.7% (2023 年度)	46%	60%
	交通をテーマに地域主体の まちづくりを推進した地区 数	2 件 (2021 年度)	4 件 (2023 年度)	累計 5 件以上	累計 10 件以上

※1、2、3 新型コロナウイルス感染症拡大以前のデータから数値目標を設定しています。

(※1 64 万人 (2017 年度)、※2 262 万人 (2019 年度)、※3 50,000 人 (2019 年度))

- ① 名古屋総合計画 2028（令和 6 年 10 月策定）において「公共交通を便利で利用しやすいと思う人の割合 86%（令和 10（2028）年度）」、「市内の鉄軌道及び市バス 1 日当たりの乗車人員合計 249 万人（令和 9（2027）年度）」と成果指標を設定したことから、数値目標の見直しを実施